

# 令和4年度 データ分析に関する研修会のテーマ及び講師候補について

## 前回(第2回 本部会)の協議結果

「令和4年度 データ分析に関する研修会」の開催に関し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策も踏まえながら、  
①開催形式、②開催時期・回数の2点についてご協議いただいた。  
協議結果も含めた研修会の概要は下記のとおりである。

①開催形式	動画配信（研修会専用サイト内での限定配信）
②開催時期	秋頃を予定。 ただし、各研修会の開催と組み合わせて実施する可能性があるため、開催時期は変更になる場合がある。
③開催期間	3週間程度

## 本日の協議内容

令和4年度 データ分析に関する研修会のテーマ及び講師についてご協議いただきたい。

以下の内容を参照し、事務局案をご提案させていただきたい。また、ご意見があればお伺いしたい。

- ・「令和3年度 データ分析に関する研修会」アンケート結果まとめ  
**《A: 研修会受講者アンケート結果(P.3)》**
- ・12月15日付のメールにて各委員に調査した内容の取りまとめ  
**《B: 委員事前調査結果(P.4、5)》**

## 事務局案

事務局検討案については、以下の観点から選定した。

- ・研修会受講者アンケート及び委員事前調査で共通して多かったご意見
- ・専門的な知識を要せず、保健事業に従事する担当者が学習するのに適したテーマ
- ・講師候補が事務局から提案できるテーマ

テーマ（案）	案とした理由
データヘルス計画について ----- <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期を見据えた、第2期の最終評価の方法について（コロナ禍での計画の実施についての評価を含む）</li> <li>・健康課題の可視化の方法及び事業への繋げ方</li> <li>・計画の標準化</li> <li>・個別保健事業の評価について</li> <li>・効果的なデータ分析及び取組事例について</li> <li>・保健事業カルテ</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員及び研修会受講者アンケートより、第3期を見据えた第2期の最終評価（コロナ禍での最終評価についてを含む）をはじめとする、「データヘルス計画」全般に係るご要望が多く挙がったこと。</li> <li>○委員及び研修会受講者アンケートより、「保健事業カルテ」に係るテーマが挙がったこと。</li> </ul>

講師候補		備考
所属	氏名	
東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 特任教授／医学博士	古井 祐司 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年度～令和3年度 データ分析研修会講師（令和3年度テーマ：保険者がデータを活用する2つのメリット）</li> <li>○東京都保険者協議会 保健事業の取組事例の構造化事業 助言者</li> </ul>

## A: 研修会受講者アンケート結果

### 令和3年度 データ分析に関する研修会 受講者ご意見

〔 講師：東京大学未来ビジョン研究センター 古井 祐司 氏  
 テーマ：保険者がデータを活用する2つのメリット 〕

(職種)

①データヘルス計画 (古井先生継続希望含む)	データヘルス計画に関する内容について	事務職	※
②健康課題の抽出	健康課題を抽出するための医療費・特定健診問診結果の経年推移データの分析方法	事務職	
	健康課題を抽出するためのデータの活用方法や読み解き方/標準化ツールを用いた具体的な活用方法	保健師	
③健康課題に応じた事業の 組み立て方	地域や職場の特徴に合ったアプローチの例、課題に対するアプローチ方法について 《R3研修会講義内容の深堀り》	事務職	
④保健事業の評価指標	アウトカム・アウトプット指標の目標値の設定の考え方について	事務職	※
⑤事例紹介	他保険者の効果的なデータ分析及び取り組み事例の共有	事務職	
⑥保健事業カルテ	保健事業カルテの活用方法等について	事務職	
⑦その他	データに基づいた保健事業のPDCA、実際のデータを用いた実践的な研修 (課題抽出・テーマ選定・事業計画・実施・検証まで)	保健師	※
	がん検診の評価方法について	管理栄養士	※
	データ分析を行うにあたり、必要な知識(統計学)と技術(数式、計算方法)について	保健師	
	専門知識がない事務職が、データ分析を行うにあたり注意すべき点	事務職	

【※】・・・委員事前調査を行った12月15日以降に提出のあった研修会受講者アンケート意見

## 今後の流れについて

本日も協議いただいた内容をもとに、事務局で講師への調整を行う。